

令和3年度 農作物病虫害発生予察12月月報

令和4年(2022年)1月4日
山口県病虫害防除所

I 気象概況

アメダス山口県山口地点

月・半旬	気 温 (°C)								
	平 均			最 高			最 低		
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差
12.1	7.2	8.4	△ 1.2	11.7	13.8	△ 2.1	3.6	3.8	△ 0.2
12.2	9.1	7.3	1.8	16.4	12.6	3.8	3.2	2.9	0.3
12.3	8.7	6.6	2.1	14.3	11.7	2.6	4.0	2.2	1.8
12.4	5.6	6.1	△ 0.5	9.9	11.2	△ 1.3	1.3	1.8	△ 0.5
12.5	7.5	5.7	1.8	13.7	10.9	2.8	2.2	1.4	0.8
12.6	3.3	5.2	△ 1.9	6.8	10.5	△ 3.7	0.2	0.9	△ 0.7
平均・計	6.9	6.6	0.4	12.1	11.8	0.4	2.4	2.2	0.3
月・半旬	降水量(mm)			日照時間(h)					
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
	本年	平年	平年差	本年	平年	平年差			
12.1	13.5	13.5	0.0	20.3	20.7	△ 0.4			
12.2	1.0	13.0	△ 12.0	31.8	19.4	12.4			
12.3	1.0	11.3	△ 10.3	17.8	18.3	△ 0.5			
12.4	25.0	10.1	14.9	11.1	18.0	△ 6.9			
12.5	0.0	10.0	△ 10.0	30.3	18.6	11.7			
12.6	3.0	11.5	△ 8.5	26.2	23.3	2.9			
平均・計	43.5	69.4	△ 25.9	137.5	118.3	19.2			

II 作物の生育状況

- (1) キャベツ : 定植遅れや定植後の雨量が少ない影響で、一部小玉傾向ではあるが、概ね生育は順調。出荷は10月から始まり、12月以降は本格的な出荷となっている。
- (2) イチゴ : かおり野は1番果が10月下旬から出荷が始まるが、バラツキが非常に大きく例年に比べて年内の出荷量は少ない。また、次の出蕾も大きくバラついており、1月にかけても出荷は少ない見込み。

III 病害虫の発生状況

1 普通作物

2021年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
ダイズ (収穫物被害調査:20ほ場) 紫斑病	発生ほ場率25.0%(平成23.9%)、発病粒率0.8%(平成0.4%)で平成並みであった。	県内全域	中 41 少 166 計 207
べと病	発生ほ場率5.0%(平成30.5%)、被害粒率0.0%(平成0.5%)で平成に比べ少なかった。	県内全域	少 41
サヤムシガ類	発生ほ場率20.0%(平成26.8%)、被害粒率0.3%(平成0.2%)で平成並みであった。	県内全域	少 166
シロイチモジマ ダラメイガ	発生ほ場率5.0%(平成9.1%)、被害粒率0.1%(平成0.2%)で平成並みであった。	県内全域	少 41
マメシクイガ	発生ほ場率40.0%(平成14.4%)、被害粒率1.7%(平成0.3%)で平成に比べ多かった。	県内全域	中 166 少 166 計 332
フタスジヒメハムシ	発生ほ場率80.0%(平成90.2%)、被害莢率8.4%(平成13.2%)、被害粒率4.3%(平成3.7%)で平成並みであった。	県内全域	多 41 中 207 少 414 計 662
吸実性カメムシ類	発生ほ場率75.0%(平成70.3%)、被害粒率3.6%(平成4.2%)で平成並みであった。	県内全域	多 41 中 124 少 455 計 620

2 野菜

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)
キャベツ (調査ほ場数:中 旬11、下旬10) 黒腐病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成5.0%)、発病株率0%(平成0.5%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成6.5%)、発病株率0%(平成0.4%)、発病度0(平成0.1)で平成並みであった。	—	—
菌核病	中旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成7.8%)、発病株率0%(平成0.3%)で平成並みであった。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0%(平成16.3%)、発病株率0%(平成0.7%)で平成並みであった。	—	—

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
キャベツ べと病	中旬の巡回調査では発生ほ場率0% (平 年5.1%)、発病株率0% (平年1.5%)、 発病度0 (平年0.4) で平年並みであっ た。 下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平 年2.5%)、発病株率0% (平年1.4%)、 発病度0 (平年0.4) で平年並みであっ た。	—	—	
萎黄病 軟腐病	中旬、下旬の巡回調査では、発生は認め られず平年並みであった。	—	—	
イチゴ (調査ほ場数:20) うどんこ病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率20.0% (平年21.4%)、発病株率2.5% (平年 2.5%)、発病葉率1.0% (平年0.7%)、 発病果率0.0% (平年0.3%) で平年並み であった。	県内全域	中	5
			少	15
			計	20
灰色かび病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年9.9%)、発病株率0.1% (平年 1.0%)、発病果率0.0% (平年0.2%) で 平年に比べやや少なかった。	県内全域	少	5
炭疽病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (前 年5.0%)、発病株率0% (前年0.0%) で 前年に比べ少なかった。	—	—	
菌核病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (平年0.8%)、発病株率0.1% (平年 0.0%) で平年並みであった。	県内全域	少	5
萎黄病	下旬の巡回調査では、発生ほ場率5.0% (前年20.0%)、発病株率0.1% (前年 0.9%) で前年に比べ少なかった。	県内全域	少	5
アブラムシ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 15.0% (平年25.0%)、寄生株率4.6% (平年2.4%) で平年に比べやや多かつ た。 主要種はワタアブラムシであった。	県内全域	多	5
			少	10
			計	15
ハダニ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 35.0% (平年37.0%)、寄生株率7.4% (平年11.8%) で平年並みであった。 主要種はナミハダニであった。	県内全域	中	5
			少	30
			計	35
コナジラミ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率 25.0% (平年29.9%)、寄生株率1.7% (平年4.8%) で平年に比べやや少なかつ た。 主要種はオンシツコナジラミであつ た。	県内全域	少	25
ハスモンヨトウ	下旬の巡回調査では、発生ほ場率0% (平年2.9%)、寄生株率0% (平年0.1%) で平年並みであった。	—	—	

2021年12月

病害虫名	発生状況	発生地域	発生面積 (ha)	
イチゴ アザミウマ類	下旬の巡回調査では、発生ほ場率15.0% (平年7.1%)、寄生花率1.8% (平年0.3%) で平年に比べ多かった。主要種はヒラズハナアザミウマであった。	県内全域	甚	5
			中	10
			計	15
オオタバコガ、 シロイチモジヨ トウ	下旬の巡回調査では、発生は認められず平年並みであった。	—	—	—

お問い合わせ先 山口県病害虫防除所
 TEL (083) 927-4006
 E-mail a172011@pref.yamaguchi.lg.jp